

# 界面活性剤

フィルムをガラス面に接着するための溶液を作ります。

- ①空の500mLペットボトルを用意して、水を約500mL入れてください。
- ②添付されている専用の界面活性剤（1本・5mL）を、水の入ったペットボトルに入れてください。
- ③スプレーボトル（100円ショップ等で販売されている霧吹き）を用意してください。
- ④ペットボトルの溶液（②）をスプレーボトル③へ入れてください。

これでフィルムを窓ガラスに接着するための溶液が完成です。

500mLの溶液でフィルムを2枚張れる十分な量があります。

## ※ フィルム施工上のご注意

T-73フィルムを施工する窓ガラスには、金属等の針金等が入っていないこと。金属線の太さや本数に関係なく、金属線が入っているガラスには絶対に施工しないでください。

施工した場合には、ガラス板が熱割れを起こす可能性があります。

熱割れが起こるとガラス窓の安全性等が損なわれます。

絶対に施工しないでください。

# 遮熱フィルム T-73 の施工方法

## 1) ご準備頂く物

- ① T-77 フィルム (必要枚数)
- ② スprayボトル (100円ショップ等で販売されている霧吹き)
- ③ 500mLの空のペットボトル (良く洗われている物)
- ④ 水 (500mL) の空のペットボトルに入れる為。
- ⑤ フィルム貼り付け用“T”型ハンドルゴムべら
- ⑥ ハサミ、カッターナイフ等のナイフ
- ⑦ 雑巾やタオル又は大きなサイズのキムワイプ等
- ⑧ メジャー (ガラスのサイズとフィルムのサイズを測る為)

## 2) 接着用溶液の作成

水500mLを用意した空のペットボトルに添付の界面活性剤1本 (5 mL)を全て入れる。  
溶液は、界面活性剤1%溶液ができます。

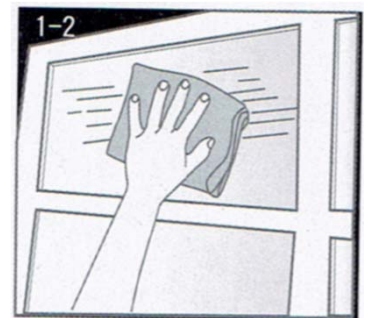
500mLの溶液でT-77フィルムを2~3枚程度ガラスに貼ることができます。

## 3) フィルムを貼るガラスの清掃

フィルムを貼るガラス窓を綺麗に拭き掃除してください。

油の汚れ等はフィルムが貼れない原因になります。  
また、ごみ等がガラス面に残っていると、フィルムを貼った後に凸凹が出来てしまいます。

ガラスを拭いた後、ゴムべら等でガラス面に残っている繊維ごみ等を綺麗に拭き取ります。

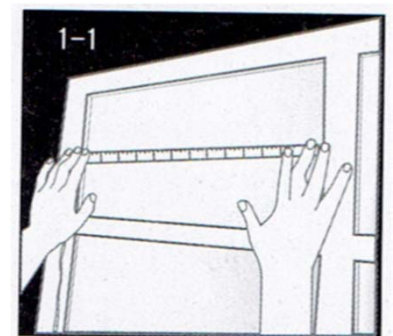


## 4) フィルムのカット

窓ガラスのサイズをメジャーで正確に測る。アルミサッシなどの場合には、ガラスはアルミの枠の間にゴムのパッキングが入っている場合があります。寸法の測定は、このゴムパッキングは含みません。ガラス板のサイズを測定してください。予めガラス板のサイズに合わせてフィルムをカットして置くとフィルムを貼りやすい。

フィルムを貼った後に、ガラスからはみ出した部分は窓ガラスに合わせてカッターナイフ等で切り取る。この際にガラス板には傷を付けないように注意してください。

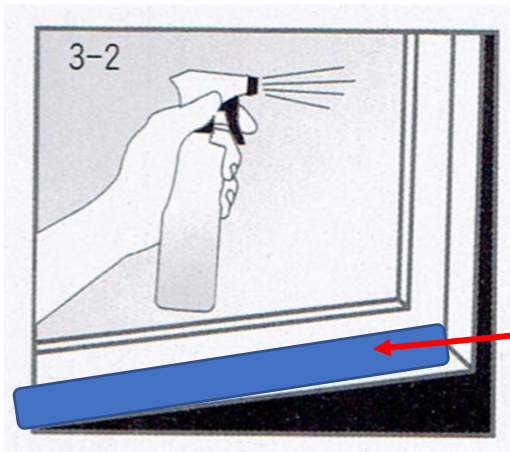
フィルムを予めカットする場合には平らな作業スペースで行ってください。



## 5) 全ての準備が出来たら、フィルムを貼り付けます。

フィルムの貼り付け手順は次のページを参考にしてください。

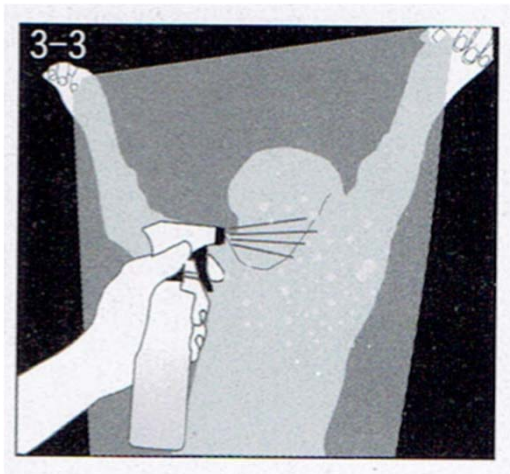
## フィルムの貼り付け手順



スプレイボトルに入った溶液を窓ガラスに少し多めに吹き付けます。

この時、窓ガラスの上側からスプレイすると溶液が下に少しずつ流れて行きます。

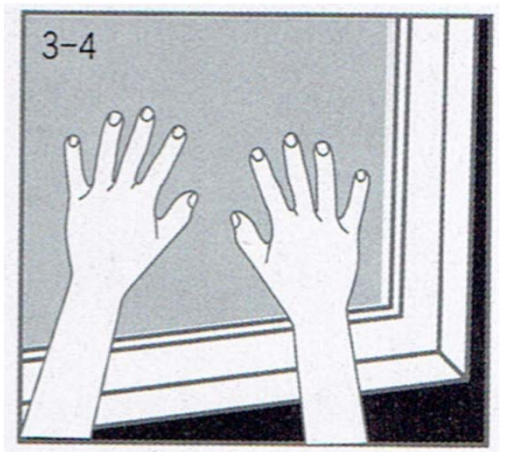
窓ガラスの下に雑巾や大き目のキムワイプ等を置いて垂れてきた溶液が下に流れて行かないようにしてください。



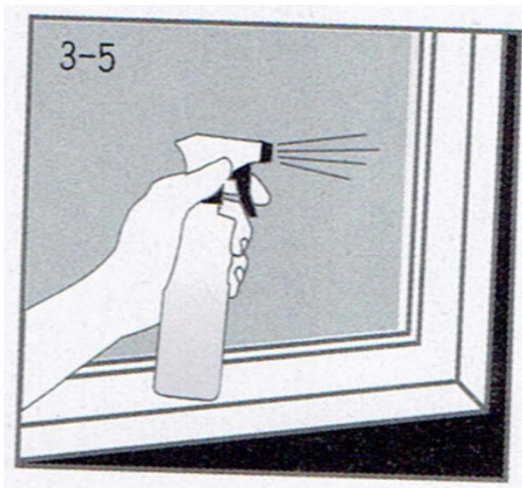
フィルムには”表“と”裏“は有りません。

どちらの面をガラスに合わせても大丈夫です。

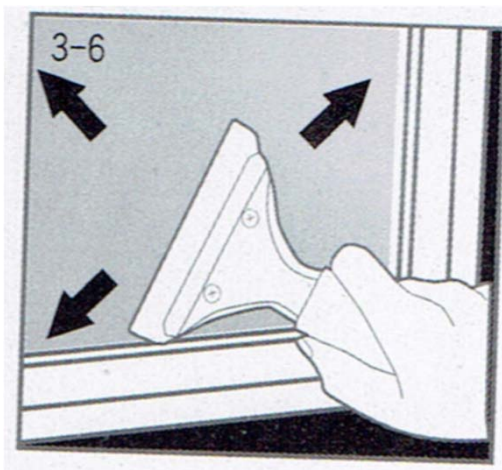
溶液が窓ガラスに十分残っている状態で、予めカットしておいたフィルムを窓ガラスの上の角に合わせて軽く押さえ、その後、フィルム全体を窓ガラスに合わせてみます。この時、フィルムとガラスの間に気泡が入りますがあまり気にしないでください。



溶液がガラス板とフィルムの間に十分ある状態ですと、フィルムを手で動かすことができます。この状態で全体の位置合わせを行ってください。



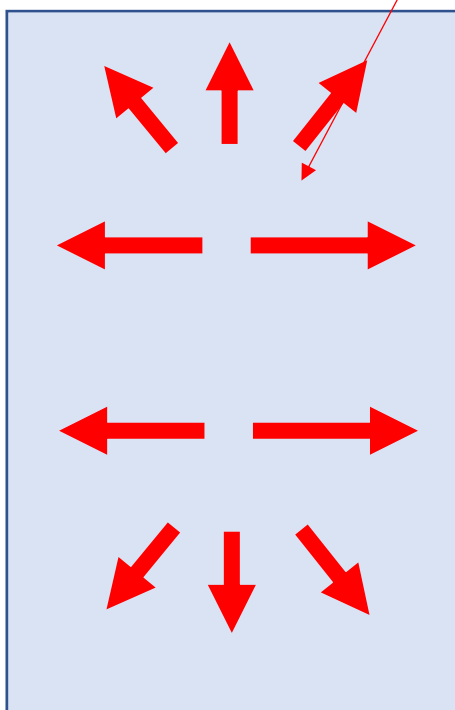
窓ガラスとフィルムの位置合わせが出来ましたら、スプレーに入った溶液をフィルムの表面全体にスプレーします。これは、“T”型ゴムベラを滑り易くする為です。滑り易くすることで、ガラスとフィルムの間に入った気泡と溶液を簡単に押し出すことができます。



“T”型ゴムベラを用いてのフィルムの貼り付けは、ガラスの真ん中辺りからゴムベラを使って上下左右にフィルムをならす様にしてガラスとフィルムの中の溶液と気泡を押し出します。

“T”型ゴムベラでフィルムの上半分の中央部分から外に向かって、ガラスとフィルムの間に入っている溶液と気泡を押し出すようにしてフィルムを貼り付けて行きます。

上半分が出来たら、下半分を同じ要領でフィルムを貼り付けて行きます。



もし、気泡や繊維ごみが残っていたり、フィルムがずれてしまった時には、その部分のフィルムを剥がしてやり直してください。やり直しが出来ます。安心して貼り付け作業を行ってください。

全ての作業が完了したら、はみ出ているフィルムをカッターナイフ等で切り取ってください。この時、ガラス板に傷を付けないように注意してください。

これで貼り付けは完成です。

**※貼り付けが終わったフィルムは24時間は触れないようにしてください。フィルムが完全に乾くまでそのままの状態を保ってください。**